

九州沖縄ブロック会議－3月24日

佐賀県社会保障推進協議会報告

(1) 自治体キャラバンについて

・キャラバンの日程

→2月：アンケート送付

3月：アンケート回収、まとめ、要請書検討

4月：要請書送付

5月：要請書回収、まとめ

7月：事前学習・自治体懇談

・自治体アンケートについて(3月14日現在)

回答あり

佐賀市・唐津市・鳥栖市・伊万里市・小城市・鹿島市・武雄市・嬉野市・多久市・
みやき町・白石町・有田町・大町町・吉野ヶ里町・基山町

回答なし

神埼市・上峰町・玄海町・太良町・江北町

(2) 佐賀県議会議員選挙立候補予定者への公開質問状について(別紙参照)

(3) 中央社保協全国代表者会議報告(別紙参照)

※次回事務局会議：4月11日(火)10:00～Web

2023年3月15日

佐賀県議会議員選挙
立候補予定者 各位

佐賀県社会保障推進協議会
会長 愛野 浩生

佐賀県議会議員選挙・公開質問状について

日頃のご奮闘に敬意を表します。

私たちは、佐賀県の社会保障の改善と充実をめざす、佐賀県社会保障推進協議会と申します。今回の佐賀県議会議員選挙立候補予定者のみなさまへ、私たちが取り組んでいる切実な県民要求に対し、どのような政治姿勢で臨まれるのかお聞きしたく、下記のとおり公開質問状としてご依頼する次第です。

選挙戦にむけてお忙しいなかとは存じますが、趣旨ご理解のうえ、ご回答をどうぞよろしくお願い致します。

1. 質問状（別紙）にお答えください。
2. 回答期日 2023年3月27日（月）まで
3. 回答方法 下記のFAX番号へ送信してください。

FAX 番号 (0952) 32-2101

4. 質問状への回答について
 - ・佐賀県社保協へ参加する団体の構成員へ投票行動の参考としてお知らせします。
 - ・加盟団体のニュース、機関紙等で広報を要請します。
 - ・各メディアへの公表も検討します。

※この件に関するご質問は佐賀県社会保障推進協議会（事務局長：船津）が承ります。

連絡先

佐賀県社会保障推進協議会

〒840-0804 佐賀県佐賀市神野東4丁目9-21

TEL (0952) 32-2077 fax (0952) 32-2101

担当：船津 毅

公開質問状

1. 重度心身障害者医療制度について

現在、重度心身障害者は医療機関に受診した際、窓口にて一部負担金を支払い、後日、役所に出向いて払い戻しの手続きをする償還払い方式となっています。この手続きによる当事者や家族の身体的、経済的、時間的負担解消のため、現物給付化が喫緊の課題です。

この件について以下の点にお答えください。

① 重度心身障害者の医療費助成制度の現物給付化は必要だと思いますか？

【 ・ 必要と思う ・ 必要ない ・ どちらでもない 】

② ①の回答の理由をお書きください。

2. 子ども支援について

(1) 子ども医療費の助成について

現在、県の子ども医療費の現物給付は就学前までになっています。県内の市町では独自に高校卒業まで現物給付しているところもあります。私たちは全ての市町村で高校まで現物給付してほしいと願っています。さらに、国に対して助成拡大の要請が必要です。この件についてお答えください。

① 子どもの医療費高校卒業までの現物給付について

【 ・ 賛成 ・ 反対 ・ その他 】

② 子ども医療費制度の助成拡大についてご見解をお願いします。

(2)学校給食費の無償化について

少子化対策の拡大が緊急に求められる中、家庭の負担軽減として、学校給食費の無償化は、物価高騰の折、切実な要求となっています。町内の全児童・生徒に対し無料化をした太良町をはじめ、江北町、上峰町などの一部補助も入れると7市町ですすめられてきています。子育て世帯の経済的負担を軽減し、食育推進の効果もある学校給食費の無償化支援を国の政策として行うことを求め、さらに、県としての支援措置をご検討ください。

① 県として学校給食費無償化の方向をめざすことについて。

【 ・ 賛成 ・ 反対 ・ その他 】

②「その他」と回答された方のその理由、ならびに学校給食費無償化についてのご見解をお願いします。

(3) 国民健康保険の保険料は、他の医療保険制度と比べ高額であり、国庫補助の増額を求めるとともに、財政責任を担う県としての独自援助をご検討ください。特に、子どもの均等割りをゼロ円とすべきだと考えます。

①保険料の子どもの均等割りをゼロ円とすることについて。

【 ・ 賛成 ・ 反対 ・ その他 】

②「その他」と回答された方のその理由、ならびに国保料に対するご見解をお願いします。

3. 「健康保険証の廃止」について

国は、2024 年秋に「健康保険証を廃止」し、任意取得のマイナンバーカードに切り替える方針を示していますが、実質的なマイナンバーカードの強制取得であり様々なトラブルが予想されます。県として、国に対して現行の「健康保険証の継続」を要請するようご尽力ください。

① 現行の「健康保険証」の継続について。

【 ・ 賛成 ・ 反対 ・ その他 】

② 「その他」と回答された方のその理由、ならびに「切り替え」に対するご見解をお願いします。

4. オスプレイの佐賀空港配備について

佐賀空港へのオスプレイ配備については、多発する事故や騒音被害の問題など多くが解決していません。空港建設時に県と関係漁業協同組合が交わした公害防止協定について、県が約束を守るべきではないでしょうか。

オスプレイ配備計画は、オスプレイ17機の配備、対戦車ヘリ50機移駐、空港西側の33ヘクタールを取得して弾薬庫や燃料タンクを整備するなど、佐賀空港を一大出撃拠点にしようというものです。

① オスプレイの佐賀空港への配備について

【 ・ 賛成 ・ 反対 ・ その他 】

② 回答のご見解をお願いします。

5. 介護保険制度についての全国の「統一要求」について。

制度施行から22年を経過しましたが、必要な介護サービスが利用できない実態が広がっています。介護に係る経済的な心配を無くし、必要な時に必要な介護サービスが利用、提供できる介護保険制度の改善を私たちは求めています。

私たちの加入する中央社会保障推進協議会(中央社保協)は、今回の統一地方選挙の県会議員選挙候補者のみなさまに、介護に関する全国統一要求として以下の要求項目を、公約として掲げていただくとともに地方議会での積極的な議論などをお願いしております。

【統一要求】

1. 介護保険財政における国庫負担の割合を大幅に引き上げ、介護保険料、利用料、食費・居住費などの国民負担の軽減を図ること。
2. 介護保険の自己負担を原則2割負担にしないこと。また、2割負担、3割負担となる対象者の拡大をしないこと。
3. 要介護1・2の訪問介護・通所介護を地域支援事業に移行しないこと。
4. ケアマネジメントの利用者負担導入(ケアプラン作成の有料化)をしないこと。
5. 介護老人保健施設・介護療養型医療施設・介護医療院の多床室(相部屋)室料負担を新設しないこと。
6. 福祉用具貸与を買い取り制度に変更しないこと。
7. 全額公費で、すべての介護従事者の給与を全産業平均水準まで早急に引き上げること。介護従事者を大幅に増やし、一人夜勤の解消、人員配置基準の引き上げを行うこと。
8. 利用者が安心して介護を受けることができ、介護事業所・従事者が不安なく介護を提供できるよう、新型コロナウイルス感染症対策を強化すること。

○以上の介護の要請について、どちらかに○印をつけてください。

賛同する ・ 賛同しない

介護保険制度改善、今回の統一要求に対するご見解をお願いします

ご協力ありがとうございました。

以下、ご記入をお願いします。

選挙区()

候補者名()

所属政党()

連絡先 ()

【連絡先】

佐賀県社会保障推進協議会

〒840 - 0804

佐賀県佐賀市神野東 4 丁目 9 - 21

Tel(0952) 32 - 2077

fax (0952) 32 - 2101

担当：船津 毅

全国代表者会議報告～当面する 2023 春の運動方針

(2023.3.14 佐賀県社保協事務局会議)

※ 2 月 8 日に中央社保協全国代表者会議が開かれ、2023 春の運動方針が確認されました。

(1) 大軍拡より社会保障の拡充を求めるたたかい

①「大軍拡より社会保障の拡充を」100 万筆署名(仮称)の推進

別紙署名用紙参照

1. 格差と貧困をなくし、社会保障の維持・発展のため、大企業と富裕層の課税強化
2. 軍事費 2 倍化ではなく、医療・介護・福祉・年金・子育て・生活保護など、社会保障予算の国庫負担の増額と国民負担の軽減

取り組み期間

・2023 年 1 月～2025 年 6 月末まで (解散なければ国政選挙は 2025 年夏)

署名の目標

・2 年半で 100 万筆を目標とする

地元国会議員へ紹介議員の要請行動

地方議会での意見書採択

通常国会中の国会提出行動 (第 1 弾) を設定

◆佐賀県社保協として、100万筆署名を加盟組織に要請し取り組む
署名用紙の一定数購入を検討。

◆9日、25 日を軸にする全国統一行動日に対応し、佐賀県での開催を検討

② 国会を包囲するたたかいと共同行動の推進

1. 国民大運動実行委員会、安保破棄中央実行委員会、憲法共同センターが呼びかけ団体の「大軍拡・大増税 NO 連絡会」に結集し共同行動を進める。

「平和、いのち、くらしを壊す大軍拡、大増税に反対する請願署名」を位置づけ取り組みをすすめる。

請願項目

- ① 平和、いのち、くらしを壊し、国民に負担を押し付ける大軍拡・大増税はやめてください、
- ② 大軍拡など決定した「安保関連 3 文書」改定を撤回して下さい。

(2) これ以上の国民負担増を許さない、通常国会のたたかい

① 介護制度大改悪を断念に追い込むたたかいの推進

1. 介護制度大改悪を延期に追い込んだ秋の闘いに確信を持ち、介護署名 50 万筆の達成、

紹介議員の獲得と、地方議会での意見書採択を全国で積み上げる

2. 夏までに介護負担増が狙われる①介護利用料の 2 割化の対象拡大、②第 1 号保険料の引き上げ、③介護施設の多床室の室料徴収 を断念に追い込む（国会対策強化・大規模宣伝・記者発表・パブコメ集中・介護給付費分科会への要請等）
3. 現場の声を可視化する闘い、Twitter デモなど SNS のさらなる推進

② 医療制度改悪阻止と制度改善運動の推進(75 歳医療・子ども医療・国保)

1. 75 歳医療費 2 倍化阻止の請願署名を継続し更に積み上げるとともに、2 割化実施後の影響調査をまとめ、当事者の声を可視化する全国で記者会見など進める。
2. 18 歳まで子ども医療費無料化を国に求める請願署名を、子ども医療全国ネットと共同して取り組む。
3. 国に向けた国保料の引き下げのたたかい（1 兆円の国費増で均等割・平等割廃止）

③ 健康保険証廃止の中止を求めるたたかい

1. 健康保険証廃止の中止を求める国会請願署名の推進
2. 健康保険証廃止の中止を求める 3 月 23 日、国会院内集会の成功

④ コロナ禍を克服し、医療・公衆衛生体制の拡充を求めるたたかい

1. ケア労働者の人員体制の拡充や、診療報酬や介護報酬の大幅引き上げ、新感染症への対応など、関係する労働組合や、医療団体連絡会議との連携を強化します。

（3）地域から要求前進を、統一地方選挙に向けたたたかい

1. 統一地方選は 4 月 9 日と 23 日が軸。自治体要求前進のチャンス、2、3 月議会でのたたかい、候補者に要求を公約させるたたかいを進めます。

※候補者アンケートの実施、介護統一要求を組み込む

2. 地元から高すぎる国保料を引き上げる大運動を推進します。
3. 介護 7 団体と協力し、介護保険制度改悪阻止の要望を地方選の候補者に届けます。
4. 子ども医療費無料制度の拡充を求めます。（①年齢は入院・外来とも 18 歳まで、②完全無料化・現物給付化・一部負担金の撤廃、③所得制限の撤廃）
5. 地域から、いのちと暮らしと社会保障を守る大運動を展開します。

（4）すべての地域に社保協を、学習運動の強化と地域社保協の結成・強化

自治体キャラバンは毎年県内の給付水準を比較分析し、それぞれの自治体に合わせ個別具体的な要求を作成し、地域住民と行政職員が折衝の場を作り交渉する「選挙以外で社会を改善させていく」優れた運動であることの確信を深めます。

※年度内での地域社保協再建、結成を目指す

(5)その他・主な日程

1.中央社保協第67回総会

日時：2023年7月5日（水）10時から16時

場所：全労連会館2階ホールおよび、オンラインZOOM

2.第50回中央社会保障学校 from おかやま

開催日：2023/9/16（土）・17（日）

開催形態：ハイブリッド。ただし、リアル参加は原則として県内居住者のみ。県外居住者は原則としてオンライン参加。

会場：岡山市勤労者福祉センター 体育集会室、第3会議室、大会議室

内容(検討中)

- ・NPO 朝日訴訟の会・則武透会長による講演
- ・特別報告 ・社会保障入門講座 ・シンポジウム（パネルディスカッション！？）

※次回2024年度の第51回中央社保学校の開催について、九州ブロックに検討を要請

3.中央社保協 オンライン連続学習会

3月1日（水）農民連会長：食料・農業の危機打開へ～今何ができるのか～

3月15日（水）大門みきし氏：消費税は社会保障の財源なのか

4月5日（水）後藤道夫氏：社会的危機の歴史的背景と闘いの方向性